team hat Magazine
HASHIMOTO SOGYO COMMUNICATION
hat 橋本総業ホールディングス 2025 VOL.21

吉﨑マーナが全米女子アマで予選トップ通過！

アメリカのゴルフトーナメント「全米女子アマチュアゴルフ選手権 」は、女子アマチュアゴルファーにとって最高峰の大会。国籍は関係なく、年齢制限もなしで、アマチュアゴルファーが参加できる。その大会の予選が行われ、17 歳の吉﨑マーナが見事予選トップ通過を果たした。

サポートしている父親は「8月の本戦で、最高の結果を出せるよう準備万端でチャレンジしてまいります」と、気持ちはすでに本戦に向けられている。

8月4日～ 10 日、オレゴン州・バンドンにて開催される本戦で優勝または準優勝すれば、翌年の全米女子オープンの出場権が与えられる。

また、吉﨑は国内プロテストにも挑戦しており、F 地区（7月 16 日～7月 18 日／福岡県・西日本カントリークラブ）にて、トータルイーブンパーの 10 位タイで見事突破した。17 歳の快進撃はとどまることを知らない。

アマチュアの最高峰の大会「全米女子アマ」の本戦出場権を得た吉﨑マーナ

PROFILE

吉﨑 マーナ

Mana Yoshizaki

生年月日：2007 年 9 月 17 日生まれ（17 歳）
出身地：沖縄県
ゴルフ歴：7 歳～
戦歴：2025 年 Sky RKB レディスクラシック ベストアマチュ、2024 年・2025 年 ダイキンオーキッドレディス 2年連続ベストアマチュア、2025 年 OBS 九州女子ジュニアゴルフ大会 優勝、2025 年 第 66 回日本女子アマチュアゴルフ選手権 4 位タイ

氏名	日程	会場	結果＆予定
金城 和歌奈	7月2日～7月4日	茨城県・サミットゴルフクラブ	+5/61 位タイで通過ならず
花城 美久	7月2日～7月4日	茨城県・サミットゴルフクラブ	+2/42 位タイで通過ならず
小島 彩夏	7月30日～8月1日	滋賀県・信楽カントリー倶楽部 田代コース	出場予定
山本 真生	7月30日～8月1日	福島県・五浦庭園カントリークラブ	出場予定
沓澤 莉子	7月30日～8月1日	福島県・五浦庭園カントリークラブ	出場予定
播磨 知優	7月30日～8月1日	福島県・五浦庭園カントリークラブ	出場予定
吉﨑 マーナ	7月16日～7月18日	福岡県・西日本カントリークラブ	0/10 位タイで通過
宮城 杏	7月16日～7月18日	福岡県・西日本カントリークラブ	0/10 位タイで通過
宮城 柚	7月16日～7月18日	福岡県・西日本カントリークラブ	-1/5 位タイで通過
山根 ミオナ	7月16日～7月18日	福岡県・西日本カントリークラブ	+26/108 位タイで通過ならず
伊佐 美音	7月16日～7月18日	福岡県・西日本カントリークラブ	+14/87 位で通過ならず
新垣 快加	7月16日～7月18日	福岡県・西日本カントリークラブ	+26/108 位タイで通過ならず
高里 由貴子	7月23日～7月25日	静岡県・裾野カンツリー倶楽部	+6/37 位タイで通過ならず
前里 奈々	7月30日～8月1日	福島県・五浦庭園カントリークラブ	出場予定
賀数 心南	8月6日～8月8日	愛媛県・エリエールゴルフクラブ松山	出場予定

柴原瑛菜と岡村恭香がウインブルドン予選に出場

テニスで最も古い歴史を持つ大会「ウインブルドン」の予選に柴原瑛菜と岡村恭香が出場を果たした（本戦：6月30日～7月13日。予選：6月23日～6月26）。

予選の第21シードで出場した柴原は、2回戦で大接戦の末に勝利を手に入れ、予選決勝に進出。チェコの20歳、L・フルビトワに惜しくも敗れた。柴原は、「昨年の全米オープン以降、シングルスでも安定してグランドスラムに出場できるようになってきました。来年は全豪オープンの本戦からの出場、そしてさらにその先の優勝を目指して、一歩ずつ前進していきます」と、本戦にダイレクトインを目指している。現在は117位で、本戦に入る目安となる100位以内はもうすぐだ。今後の活動として、「日本代表メンバーとして9月のBJKファイナルにも選出されました。日本を世界一に導けるよう、全力で戦ってきます！　これからも応援よろしくお願いいたします！」日本代表での活躍も期待しよう。

初めてウインブルドン予選に出場した岡村恭香は、予選1回戦で敗れるも自信は得ている様子。「悔しい結果に終わってしまいましたが、テニスの最高峰の大会と言われるウインブルドンの地に選手として立てたことはとても誇りに思います。そして、この度日本テニス協会後期ナショナルチームメンバーにも選出されました。ジュニア時代から一度も選ばれることなく、もうこのまま選ばれることはないと思っていました。ナショナルメンバーへの選出も、グランドスラムへの出場も、心の底から切望しつつも叶わないかもしれないと思っていた夢のような目標が、ひとつずつ皆さまのお力を借りて、この歳になって成し得ることができ、いまいちど、諦めずに努力し続けることの重要さを痛感しております」と、ナショナルメンバー入りを報告。これからの活躍が楽しみだ。

柴原 瑛菜

Ena Shibahara

柴原はウインブルドンの予選決勝にまで駒を進めたが、惜しくも本戦入りを逃した

岡村 恭香

Kyoka Okamura

岡村は「戦う大会のレベルも上がり、また新たな大きな壁に立ち向かっています」と前向きに語った。写真は兄の一成と比嘉ジャイミーコーチと

柴原瑛菜（120位）のシングルス結果

		スコア	対戦相手（国籍）
予選3回戦	×	3-6 5-7	Linda Fruhvirtova (CZE)
予選2回戦	○	7-6(5) 6-7(5) 7-5	Marina Bassols Ribera (ESP)
予選1回戦	○	6-4 6-4	Stefanie Voegele (SUI)

柴原瑛菜（103位）のダブルス結果　パートナー青山修子

		スコア	対戦相手（国籍）
本戦1回戦	×	4-6 4-6	M. Linette (POL)/ B. Pera (USA)

岡村恭香（187位）のシングルス結果

		スコア	対戦相手（国籍）
予選1回戦	×	2-6 2-6	Kaja Juvan (SLO)

小堀 桃子

Momoko Kobori

ITF W35 SINGLES 準優勝

ITF W35
台湾・台北
6月23日～6月30日
シングルス準優勝

WTA125 DOUBLES 準優勝

WTA125
イタリア・パレルモ
7月21日～7月27日
ダブルス準優勝

北原 結乃

Yuno Kitahara

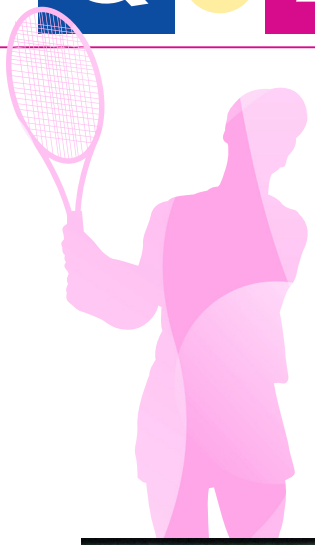
ITF W15 SINGLES 準優勝

ITF W15
タイ・ナコーンパトム
7月21日～7月27日
シングルス準優勝

橋本総業ホールディングス 公式インスタグラムがスタート

企業情報やイベント・スポーツ活動を発信していく、橋本総業ホールディングス株式会社の公式インスタグラムがスタートした。所属選手たちの活動もここで見ることができる。「フォロー」「いいね」「コメント」で選手たちを応援しよう！

Q&A 素朴な疑問を聞いてみよう!



質問

プロになってから
変わったことはある?

答え 1 粘るだけ、頑張るだけから戦術を考えるように変化

ジュニア時代はラリーでどれだけ粘れるかが自分の持ち味でした。全てのボールを全力で返す感じです。プロではそれだけでは通用せず、全てのラリーを全力でやっていても、試合が長くなり体力も持ちません。ちゃんと頭を使って組み立てていかないといけないと気づかされました。相手とのやり取りを通して展開の仕方を考えたり、重要な場面で集中力を上げられるようにしたりと、戦術を考えるようになりました。

答え 2 フィジカル強化だけでなくプレーの質を上げるトレーニング

トレーニングに関しての意識も変わりました。ジュニア時代はフィジカルを鍛えればいいと考えていたんです。だからひたすら走ったり、インターバルを行なっていました。今は試合に勝つためのトレーニングを行えています。この動きをこのショットを打つ時に使うとか、このステップができればボールが入るようになるとか、トレーニング内容がプレーにつながっています。意味のあるトレーニングができるようになってきました。

答え 3 体重差が10キロ!食事を意識してベスト体重に

私は結構太りやすい体質で、夏と冬だと体重差が 10 キロぐらいありました。冬は太りすぎで夏は痩せすぎです。体重の増減が激しすぎるとコンディションを整えるのが難しいので、冬と夏の真ん中のベスト体重を維持できるように、食事に気を付けるようになりました。カロリーを抑えたり、エネルギーになるものをしっかりと摂ったりしています。今は増減の幅がかなり狭くなりました。今回挙げた3つのことは、プロだったらみんな行っていると思いますが、ジュニアの時には意識できていないことだったので、ずいぶん変わったと思います。

PROFILE

教えてくれたのは…

小林ほの香プロ

Honoka Kobayashi

2000 年 4 月 23 日生まれ。神奈川県出身。169cm。
4 歳でテニスを始め、2019 年にプロ転向。WTA シングルスランキング自己最高を 620 位に更新(2025 年 7 月 21 日付)

働くバドミントンプレーヤー

MAHOのコラム

全国大会出場を目指し、自分でチームを作って活動する塩澤麻帆が、バドミントンの魅力を語る！

BADMINTON

反復練習で成長する過程が自分を作る

東北支店の販売２課にて営業アシスタントとして、電話対応・受発注業務・見積などを行っております塩澤麻帆です。

３歳上の兄と双子の姉がバドミントンをするということで、一緒に小学校４年生から始めました。現在は、自分でチームを作り、週に４回ほど練習しています。全国大会予選会、全国大会（社会人クラブ・シニア）、国体予選などに出場しており、今年の「国民スポーツ大会東北ブロック大会兼第 52 回東北総合スポーツ大会山形県予選会」では優勝することができました。

バドミントンは相手のコートに先に落とした方が勝ちという、ルール上は簡単なスポーツです。難しいのは、相手との駆け引きや、普段の練習でしてきたことを試合の時にどれだけ出せるか、自分の思っている通りに配球ができるのかを、コートの中で体現することです。難しい反面、それが１番楽しい瞬間でもあると思っています。私は相手の位置や癖を読んでプレーすることが好きなので、それがうまく機能して試合で勝った時、反復練習を繰り返してできなかったことができるようになった実感を得られる時は充実感があります。

私は身長も平均的ですし、筋力面やパワー面では周りと比べて劣っています。バドミントンのセンスもある方ではなく、運動自体が得意ではなく、覚えが早い方でもありません。ですが、毎日考えて、練習を繰り返し、成長していくしかありません。努力が必ず報われるわけではありませんが、その過程がバドミントンをする時も、しない時も今の自分へと繋がっています。

バドミントンは自分にとって、これまでの人生です。仕事も同様に、お客様への正確な回答、いただいた依頼を正確かつスピーディにすることを心掛けています。素晴らしい先輩方から日々学び、吸収できるよう努めています。

今年は８月末に国民スポーツ大会東北ブロック大会、11 月には全日本シニアバドミントン選手権大会に出場予定です。全国大会に毎年出場することができるように、成長しながら練習を継続していきます。

相手との駆け引きや、自分の思い通りの配球をコートの中で体現することがバドミントンの難しい点

PROFILE

塩澤 麻帆

Maho Shiozawa

平成4年2月21日生まれ。富山県出身。小学校4年生からバドミントンを始め、大学では部長も務めた。自分でチームを作って活動し、全国社会人クラブの一般女子ダブルス優勝、合算混合ダブルスベスト8、一般女子団体2位。令和7年度国民スポーツ大会東北ブロック大会優勝

塩澤選手のプレーはこちらから！

TOPICS

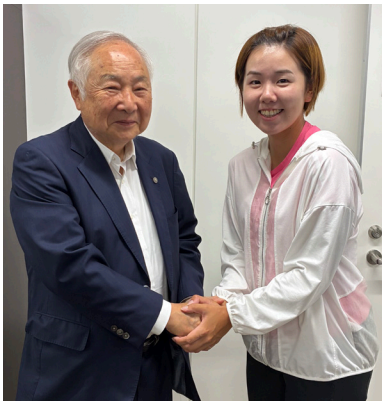
ゴルフ GOLF

ゴルフプロテスト第１次予選直前合宿を実施

７月から開始されるゴルフプロテスト第１次予選に向けて、６月25 日と 26 日にみらいゴルフアカデミーの強化合宿が行われた。25 日は最終プロテストが開催される JFE 瀬戸内海ゴルフ倶楽部で、26 日は久井カントリークラブで実施した。この合宿に参加した 25 歳の小島は後日、会社に訪れて工藤トレーナーと練習＆トレーニングを行なって最終調整。「プロテスト＆ QT トップ通過でいきます！応援よろしくお願いいたします！」と意気込みを語った。

プロテスト第１次予選は６地区に分かれて開催中だ。

※スケジュールは 1 ページに掲載



プロテスト前に来社して橋本政昭会長に意気込みを語った小島彩夏

発行：橋本総業ホールディングス株式会社　編集：Tennis.jp　デザイン：鷲見善弘（こうぼく堂）

●本誌掲載の記事、写真など全ての無断掲載、複写を禁じます。